

第3次練馬区自転車利用総合計画 令和4年度(2022年度)～令和13年度(2031年度)

令和4年度進捗状況報告

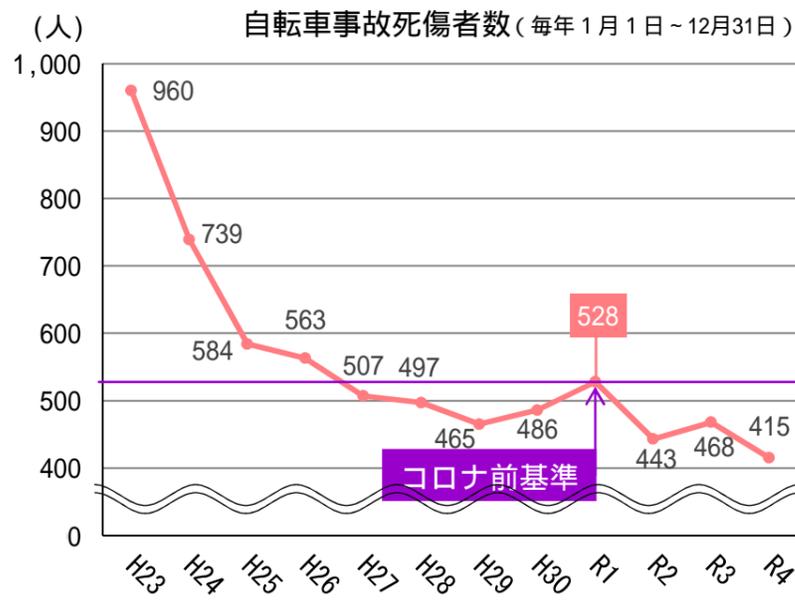
令和5年8月3日
土木部交通安全課

第3次練馬区自転車利用総合計画では、計画に基づき事業を推進するため、毎年自転車駐車対策協議会で進捗状況の評価を行い、その評価

結果を踏まえて中間年度(令和8年度)に計画の見直しを行うこととしています。評価は、計画の4つの方針を5つの指標で判断します。

まもる 安全・安心 - ルールを守り、安全に自転車が利用される将来 -

自転車事故の減少 - 警視庁の事故統計等に基づき、自転車交通事故当事者数などから評価 -

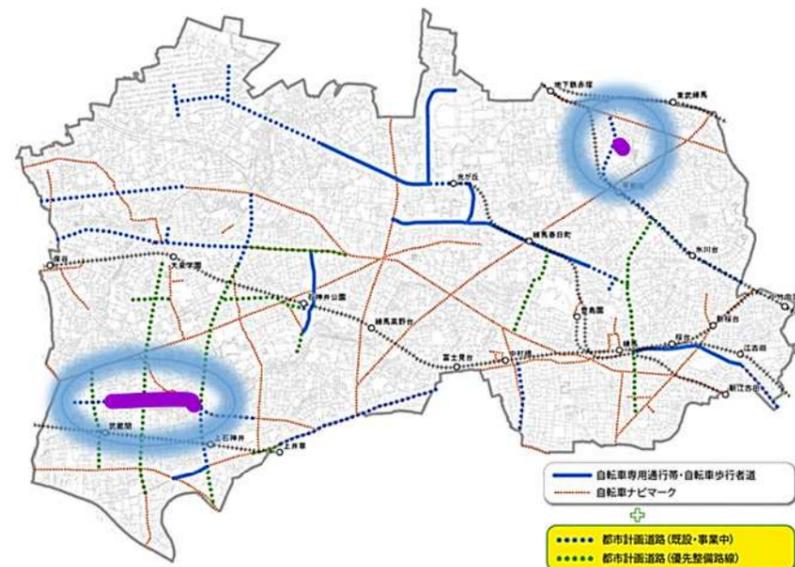


平成25年までは減少傾向にあり、それ以降は横ばいの状況が続いていました。令和2年の新型コロナ流行以降は再び減少傾向にあります。

- 令和4年度実績
- 交通安全教室 小学校60校
 - スクアード・ストレイト方式による交通安全教育 中学校17校 高校2校
 - 自転車シミュレーター 4,320名
 - 自転車安全利用TOKYOセミナー
 - 自転車ヘルメット購入費助成 (R5)
 - 交通安全啓発グッズ配布 (R5)

はしる 通行環境 - 快適に自転車で移動できる将来 -

自転車通行空間の整備区間 - 自転車通行空間の整備距離から評価 -

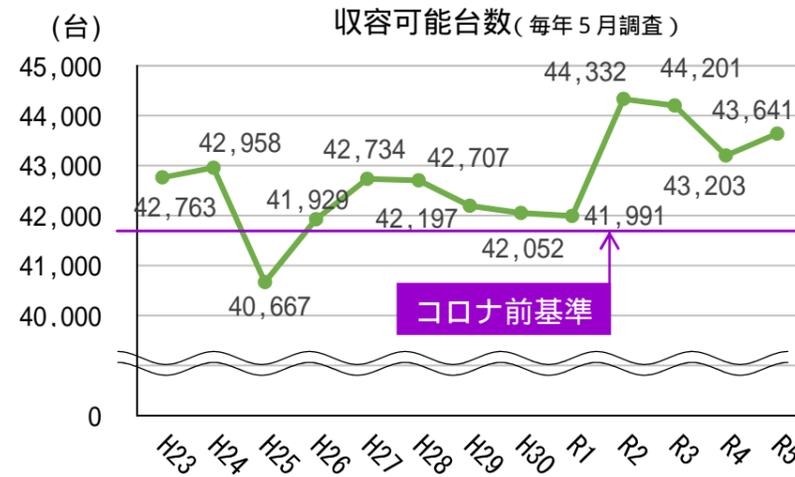


- 現在事業中の都市計画道路 9区間
- 補助132号線(期)
 - 補助135・232号線
 - 補助135・156号線交差点
 - 補助135・230号線交差点
 - 補助135号線(青梅街道～新青梅街道)
 - 補助230号線(青梅街道～新青梅街道)
 - 補助232号線(期2)
 - 補助235号線
 - 区画街路1号線

- 令和4年度実績
- 都市計画道路補助235号線 0.2km
 - 新青梅街道(東京都施行) 1.2km

とめる 駐車環境 - 適切に自転車が利用される将来 -

自転車駐車場の整備台数 - 自転車駐車場の整備台数から評価 -



新型コロナ流行前(R1)の需要台数(区内全駅合計41,744台)より多く整備していますが、依然として需要を満たしていない駅があります。

令和4年5月～5年5月実績【438台】		
新設	2施設	284台
拡張	3施設	270台
閉鎖	2施設	116台
新設予定	1施設	210台 (R5)
閉鎖予定	1施設	642台 (R5)

いやす 活用推進 - 様々な場面で自転車が利用される将来 -

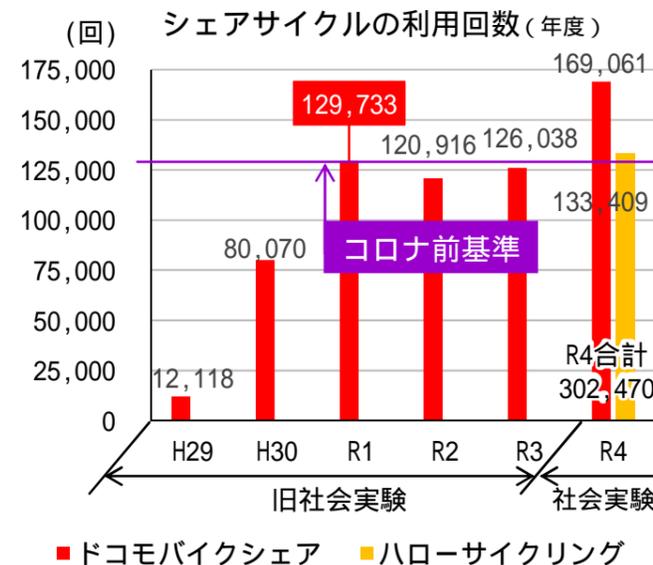
ねりまタウンサイクルの利用回数 - ねりまタウンサイクルの利用回数から評価 -



1日の平均利用回数は、自転車数と同数程度で推移してきましたが、新型コロナ流行後(R2～)は減少傾向にあります。

令和4年度からのシェアサイクル新社会実験開始にあわせ、令和5年度から全7施設で当日利用を休止(うち4施設は平成29年度中から休止を継続)

シェアサイクルの利用回数 - シェアサイクルの利用回数から評価 -



令和元年度までは、シェアサイクルポート数の増加とともに利用回数も大きく増加しています。令和2・3年度は、新型コロナ流行前(R1)に比べ利用回数が減少しています。令和4年度から現社会実験を2事業者で開始し、区内全域へのシェアサイクルポートの展開、他自治体との相互乗入が可能となり、利用回数の大幅な増加が見られました。

令和4年度実績	総ポート数 / 公共ポート数
R3年度末現在	48 / 13
R4年度末現在	185 / 126

令和5年7月末現在 総ポート数 229